

もり いろ
森の色

加羅古呂庵 一泉

2025. 8.23 作曲

もり いろ 森の色

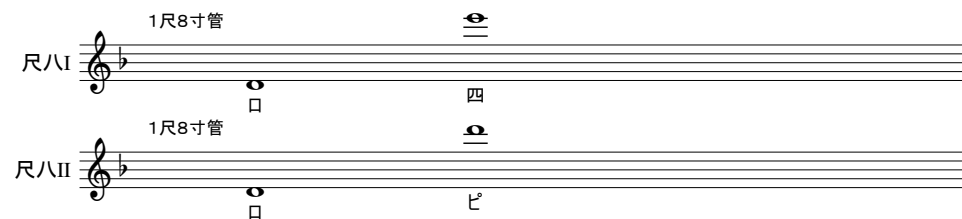
里山の森は、広葉樹が多いこともあって、冬の間は鈍い色をしています。季節の移ろいとともにさまざまな色を見せてくれます。「芽吹き」「山法師舞う」「下草の夏」「秋に綾なす」の4つのシーンにより構成しました。

春、桜の花の華やかさに目を奪われていると、いつの間にか森の木々が芽吹き始め、若い葉が春の光に照らされて輝きます。

5月になると、木々の花が咲き出しますが、どちらかというと白い花が多いようで、そのなかでもヤマボウシの花がひときわ目を惹きます。紙が舞っているようなその姿は、どこかユーモラスでもあります。

夏になれば、木々の緑は色濃くなり、森は鬱蒼とした雰囲気になりますが、梢の隙間から夏の日射しが下草にも届きます。ふだんは地味な存在の下草も、日の光を受けて喜んでいようにも見えます。

やがて秋から冬に近づくと、森の木々は色づき始め、赤や黄の葉と常緑樹の緑が文字どおり錦のような彩りを見せてくれます。



加羅古呂庵ホームページ



65

尺八I

尺八II

71

尺八I

尺八II

mf

77

尺八I

尺八II

83

尺八I

尺八II

f

mf

f

mf

89

尺八I

尺八II

f

f

94

尺八I

尺八II

mf

mf

100

尺八I

尺八II

mf

106

尺八I

尺八II

112

尺八I

尺八II

mf

f

mf

f

mf

118

尺八I

尺八II

f

f

124

尺八I

尺八II

mf

mf

129

尺八I

尺八II

135

尺八I

尺八II

poco rit.

poco rit.

142

尺八I

尺八II

下草の夏
♩ = 112

mf

mf

147

尺八I

尺八II

152

尺八I

尺八II

カラカラ (以下同じ)

158

尺八I

尺八II

f

f

mf

164

尺八I

尺八II

mf

カラカラ (以下同じ)

mf

mf

170

尺八I

尺八II

f

f

mf

mf

176

尺八I

尺八II

mf

尺八Ⅰ 181

尺八Ⅱ

尺八Ⅰ 186

尺八Ⅱ

尺八Ⅰ 191 秋に綾なす ♩ = 88

尺八Ⅱ

mf

尺八Ⅰ 198 ♩ = 132

尺八Ⅱ

mf

尺八Ⅰ 203

尺八Ⅱ

尺八Ⅰ 208

尺八Ⅱ

尺八Ⅰ 213

尺八Ⅱ

尺八Ⅰ 218

尺八Ⅱ

尺八Ⅰ 223

尺八Ⅱ

f *mf* *f*

f *mf* *f*

尺八Ⅰ 228

尺八Ⅱ

mf

> mf

237

尺八I

尺八II

242

尺八I

尺八II

mf

247

尺八I

尺八II

mf

252

尺八I

尺八II

256

尺八I

尺八II

f *mf*

f *mf*

261

尺八I

尺八II

265

尺八I

尺八II

f *ff*

f *ff*